

協力雇用主に対する アンケート調査

平成31年3月

法務省保護局

調査概要

1 調査の目的

平成29年12月に閣議決定された「再犯防止推進計画」において、協力雇用主の活動に対する支援の充実が盛り込まれたことを踏まえ、協力雇用主の実情、ニーズ等を把握し、支援を充実強化することを目的として、アンケート調査を実施した。

2 調査の概要

(1) 調査対象

平成30年4月1日現在で保護観察所に登録されている事業所から抽出された1,000社の協力雇用主のうち、雇用実績あり群200社、無作為抽出群800社。

(抽出方法)

全国の保護観察所ごとの登録社数の構成比によりランダムに抽出した。

(2) 調査方法

協力雇用主にアンケート票を郵送し、協力雇用主が記入後、回収用専用封筒でアンケート集計業者へ直接返送した。

(3) 調査期間

平成30年8月20日～同年9月28日

(4) 有効回収数

603票（回収率60.3%）

3 調査結果の分析・考察

(1) 新規協力雇用主の拡大

協力雇用主になったきっかけとして最も多かったのは、「犯罪や非行少年の立ち直りに貢献したかったから」であることから、今後、幅広く協力雇用主を拡大していくためには、協力雇用主の社会的意義を強調することが効果的といえる。

(2) 実際に雇用する協力雇用主の拡大

ほとんどの協力雇用主が雇用する意思があることから、実際に雇用する協力雇用主を増やすためには、更生を促せるよう対象者と協力雇用主のマッチングを図りつつ、保護観察所が積極的に雇用を依頼することが必要である。また、協力雇用主からの経済的支援のニーズは高く、実際に奨励金を活用した協力雇用主の9割弱が奨励金制度は有効と評価していることから、実雇用の拡大に当たっては、奨励金を効果的に活用していくことも重要である。

(3) 雇用後のフォローアップ

雇用した対象者のおよそ5割が、無断欠勤、意欲の乏しさ、人間関係のトラブルといった就労上の問題を抱えており、実際、雇用してもおよそ5割が半年以内に辞めていることから、就労を継続させていくためには、対象者及び協力雇用主双方に対する継続的な訪問・指導等のフォローアップが必要である。

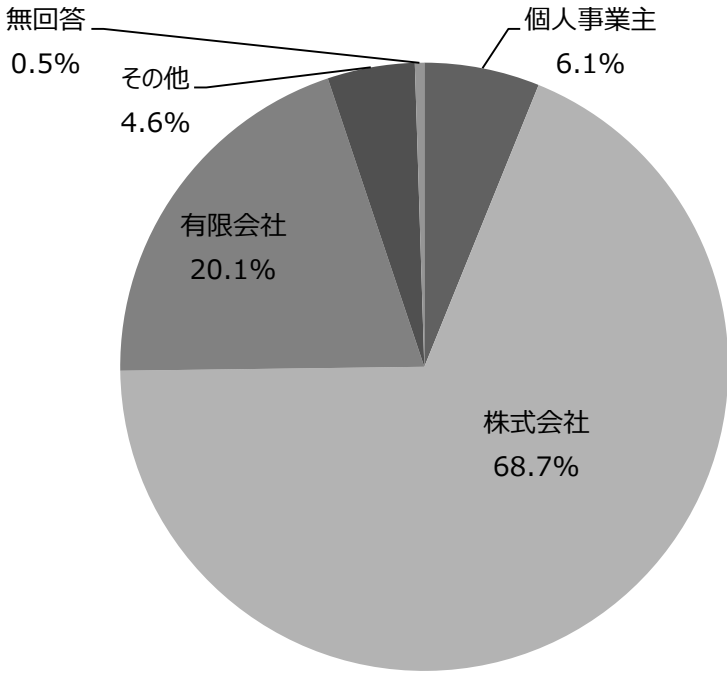
(4) 住居の確保

協力雇用主のおよそ5割が対象者のために住居を準備したことがあり、住居を確保できない者を雇用しようとする協力雇用主に対する支援の充実も必要である。

アンケート調査結果

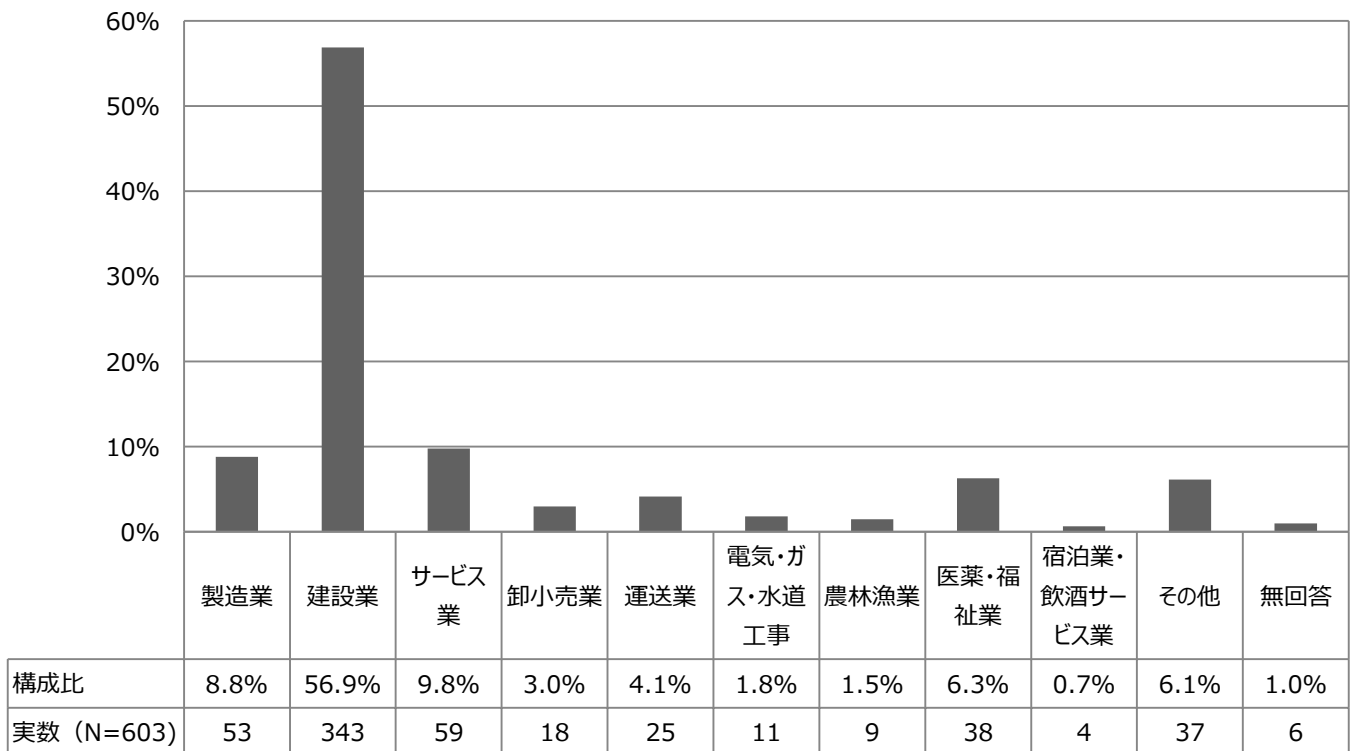
協力雇用主のプロフィール

Q あなたの事業の主体は、次のいずれの形態でしょうか。



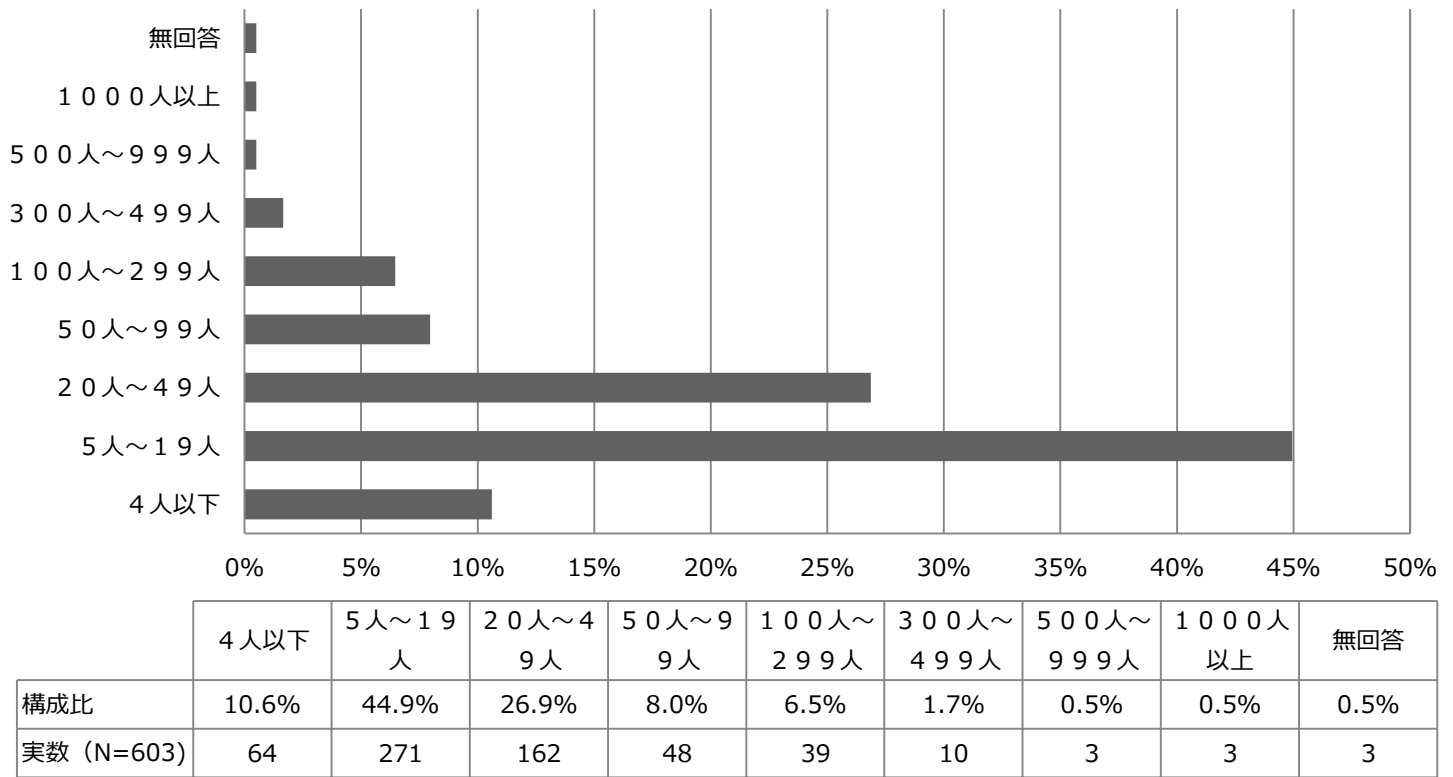
	実数	構成比(%)
全体	603	100
個人事業主	37	6.1
株式会社	414	68.7
有限会社	121	20.1
その他	28	4.6
無回答	3	0.5

Q あなたの事業の業種をお知らせください。

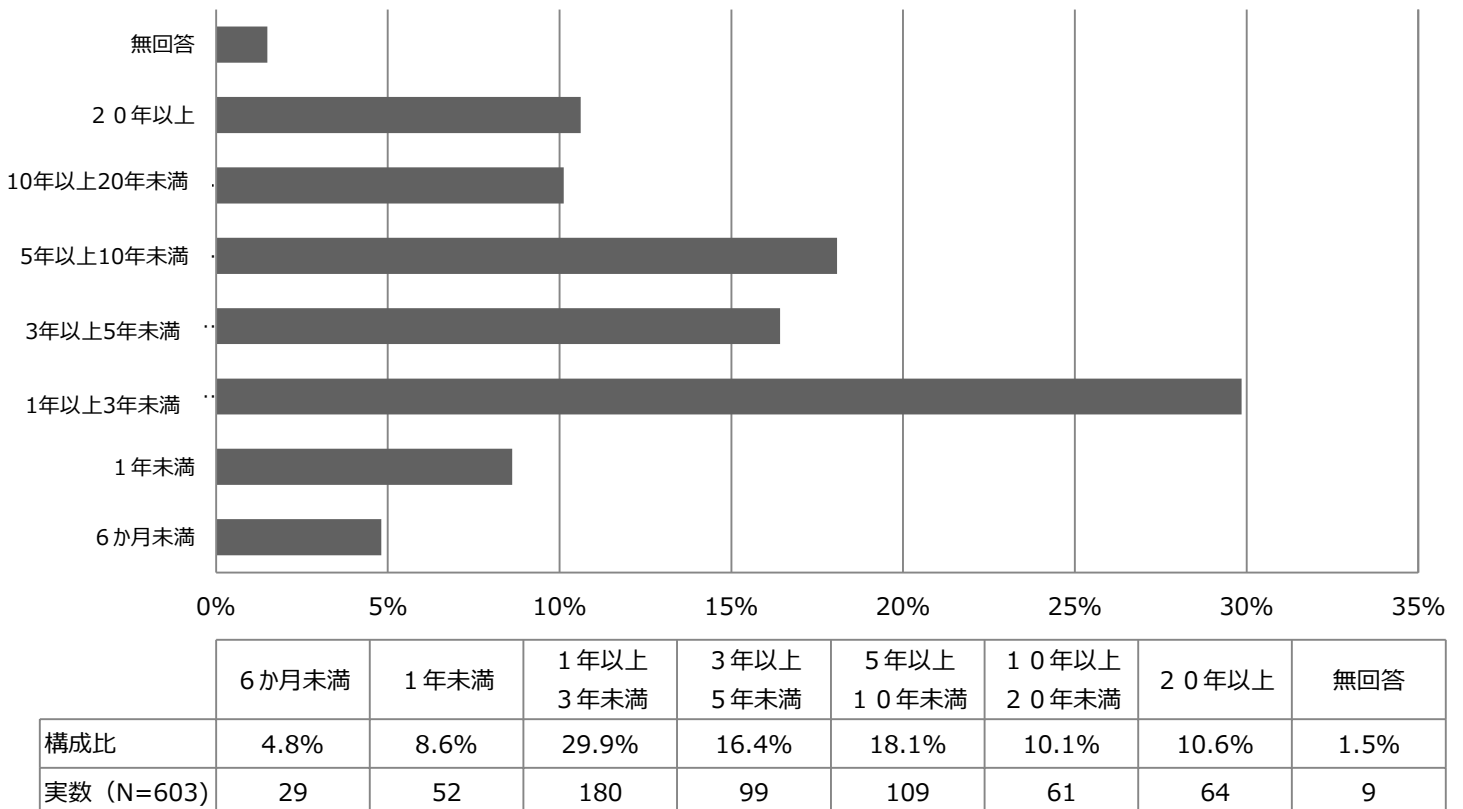


アンケート調査結果

Q あなたの事業の従業員数をお知らせください。

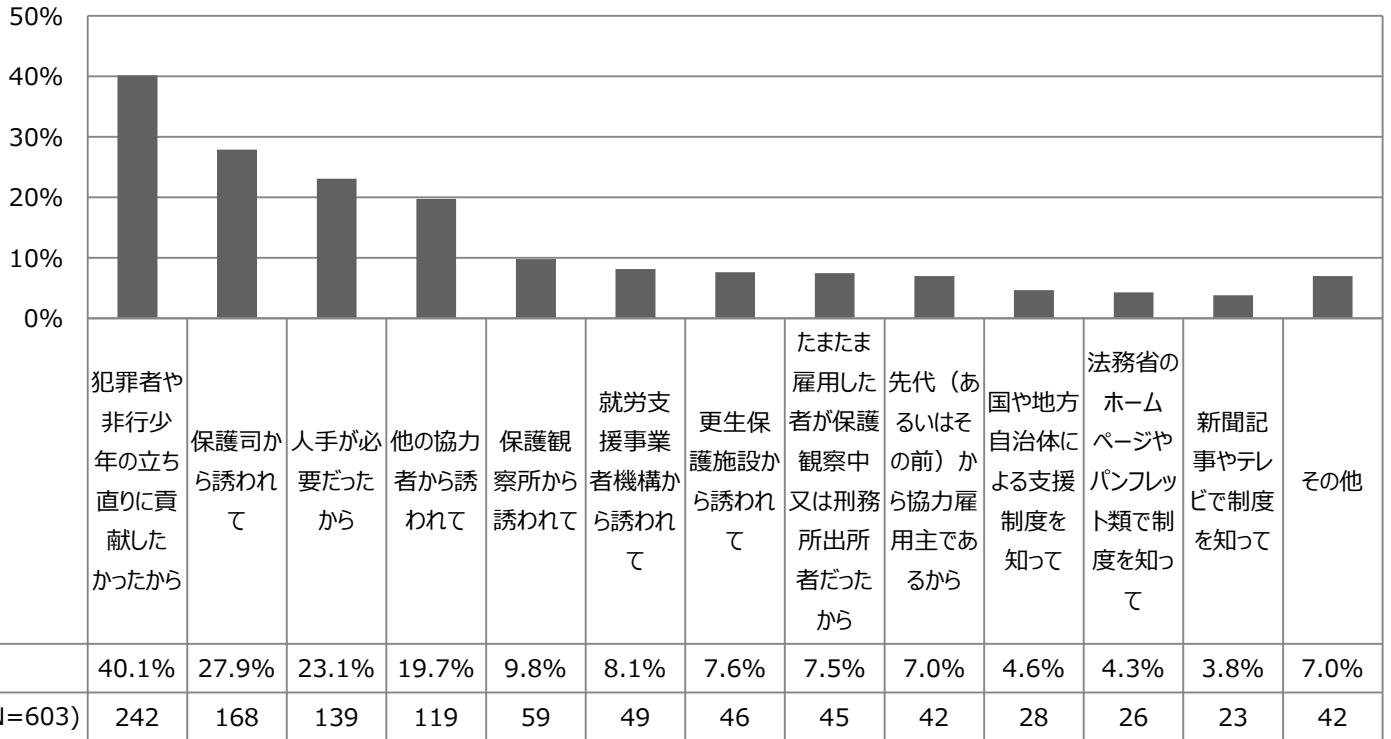


Q あなたが協力雇用主になってからの経過年数をお知らせください。

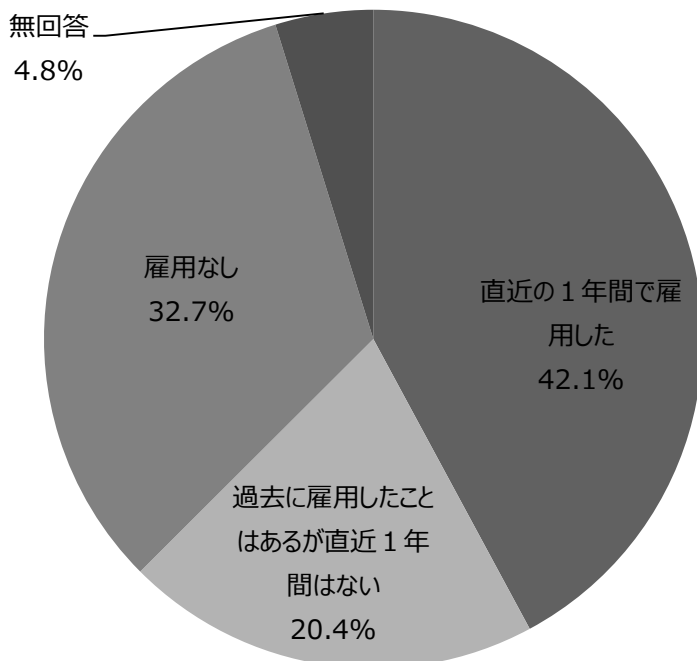


アンケート調査結果

Q あなたが協力雇用主になったきっかけ(動機)をお知らせください。(複数回答可)



Q 協力雇用主として犯罪や非行をした人を雇用した経験の有無をお知らせください。

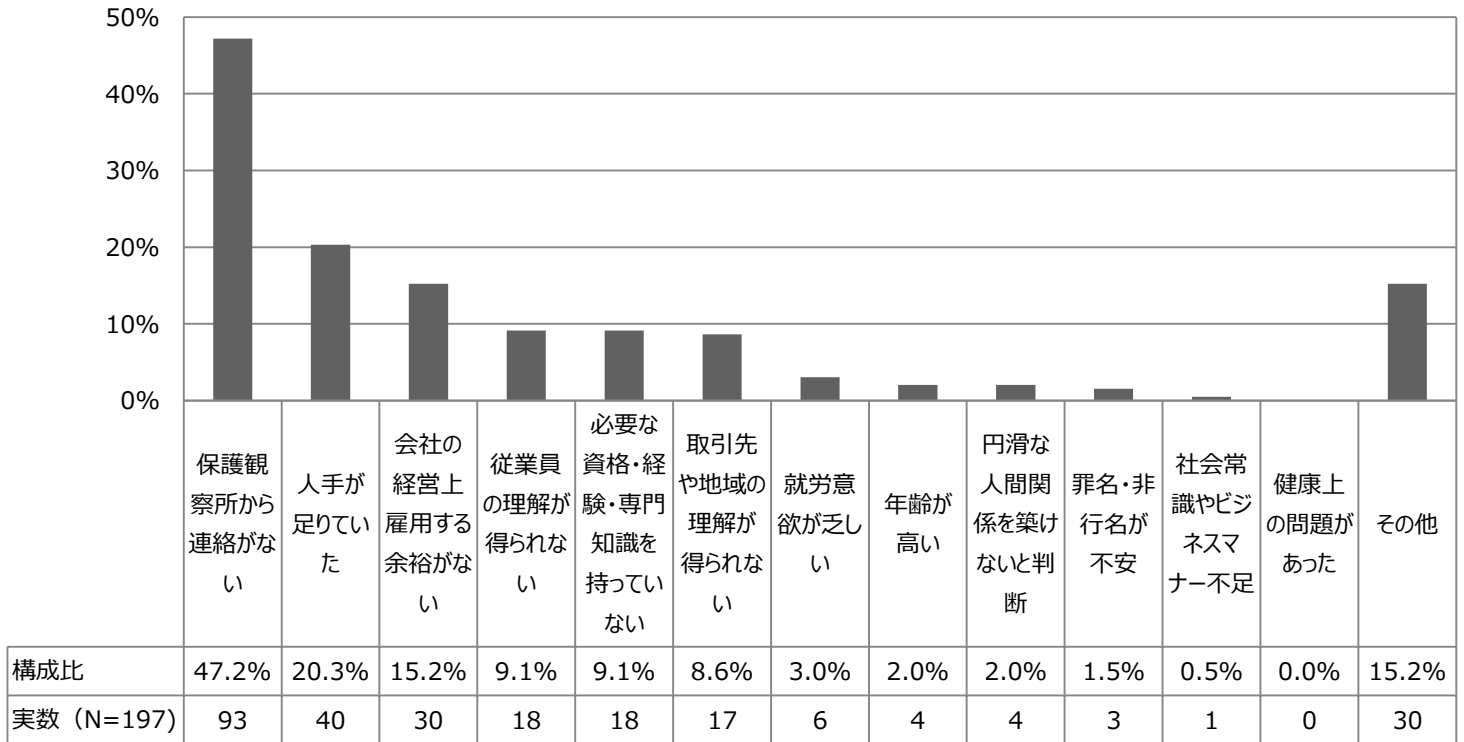


	実数	構成比(%)
全体	603	100
直近の1年間で雇用した	254	42.1
過去に雇用したことがあるが直近1年間はない	123	20.4
雇用なし	197	32.7
無回答	29	4.8

アンケート調査結果

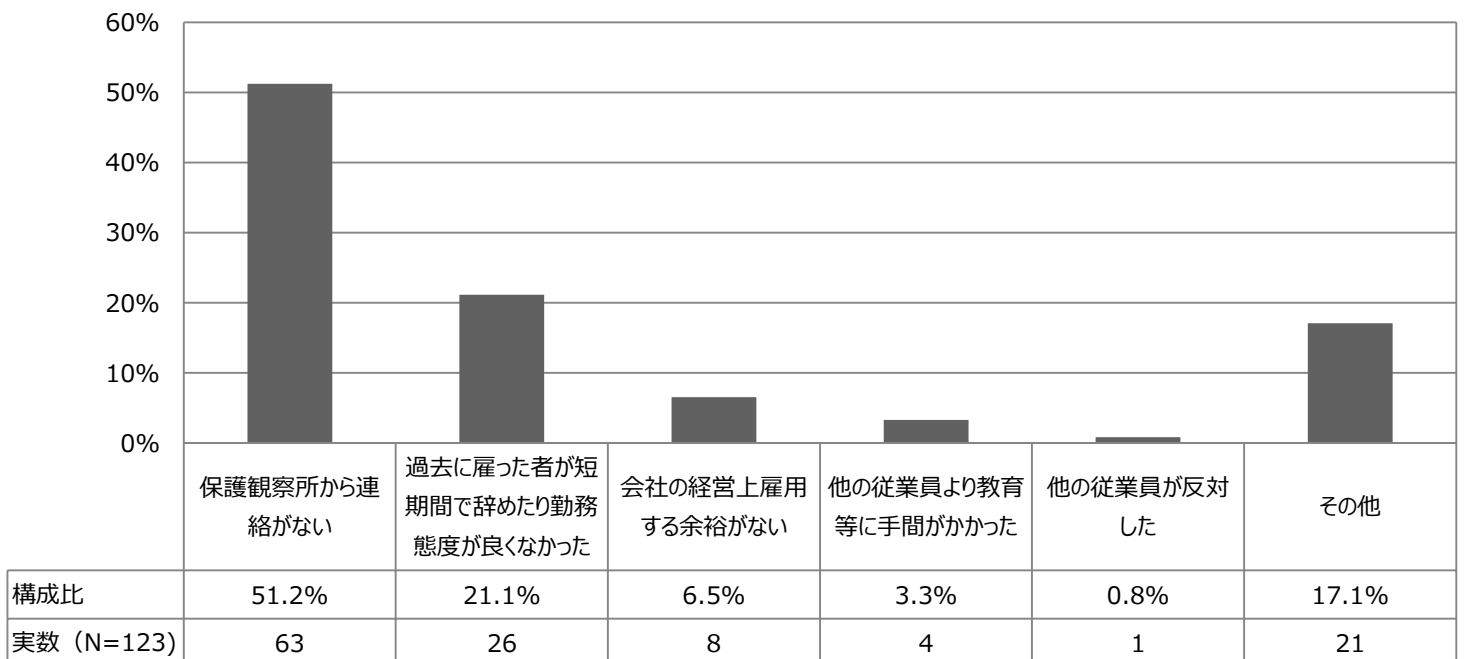
(Q「協力雇用主として犯罪や非行をした人を雇用した経験の有無をお知らせください。」で「雇用したことがない」を選択した人のみ)

Q 雇用したことがない理由をお知らせください。(複数回答可)



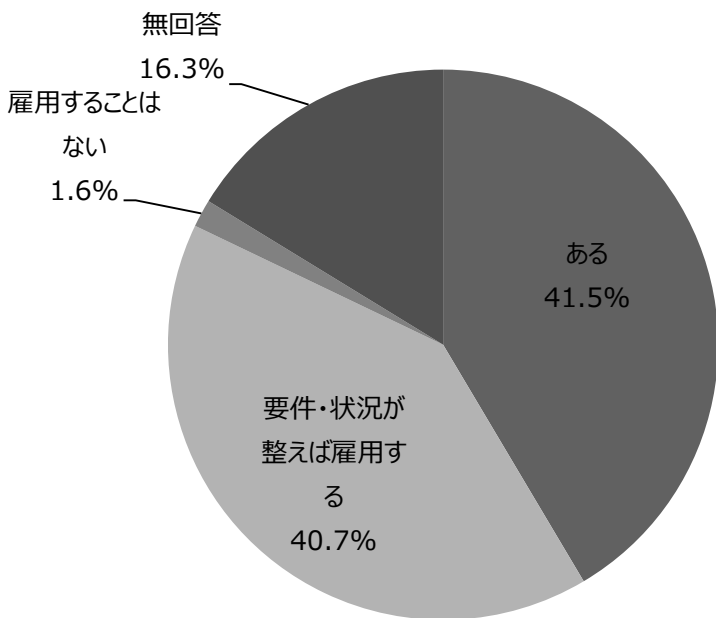
(Q「協力雇用主として犯罪や非行をした人を雇用した経験の有無をお知らせください。」で「過去に雇用していたが、直近1年間は雇用していない」を選択した人のみ)

Q 過去雇用していたが、直近の1年間雇用していない理由をお知らせください。(複数回答可)



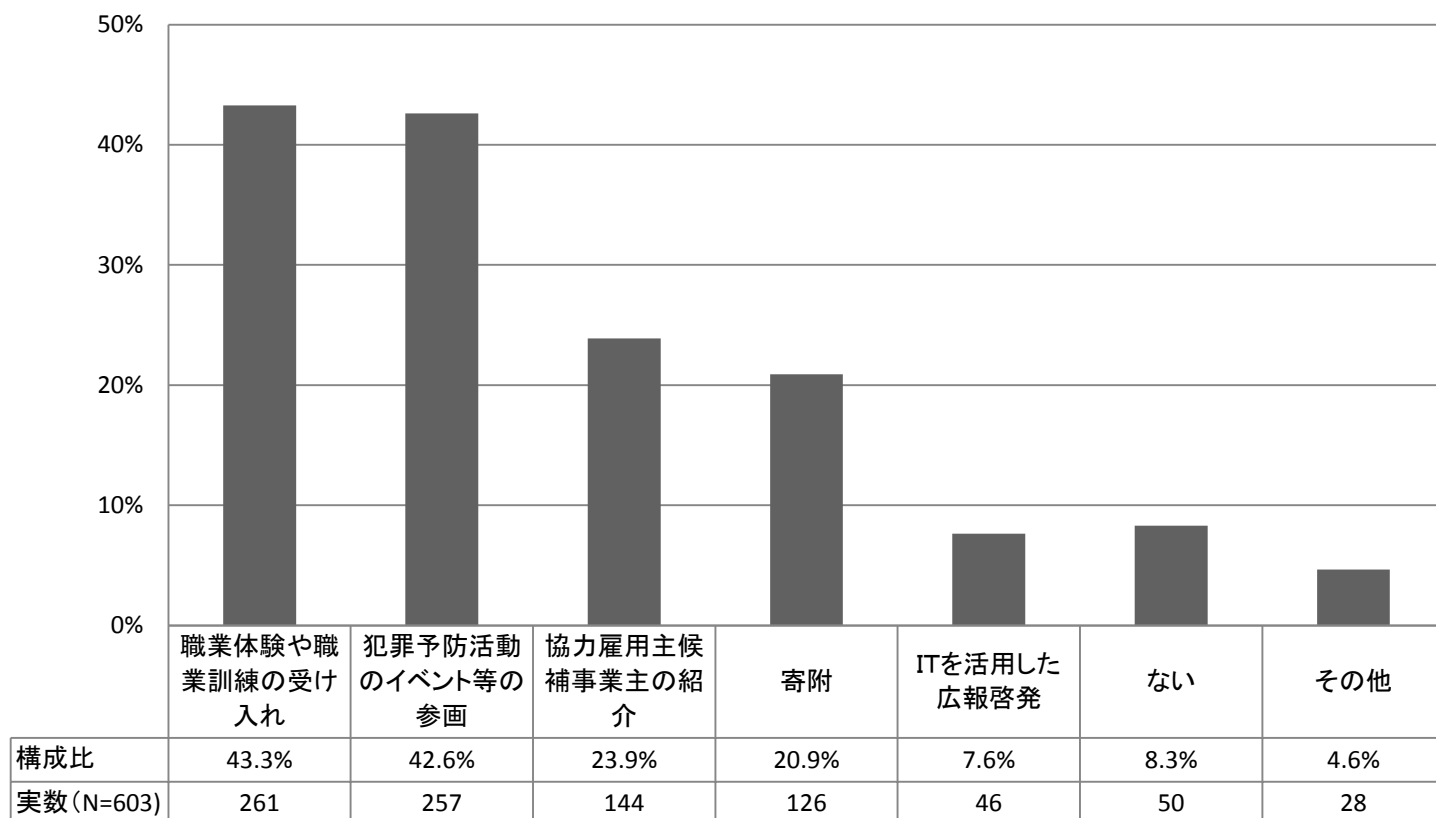
アンケート調査結果

(Q「過去雇用していたが、直近の1年間雇用していない理由をお知らせください。」を回答した人のみ)
 Q 今後雇用する意思はありますか。



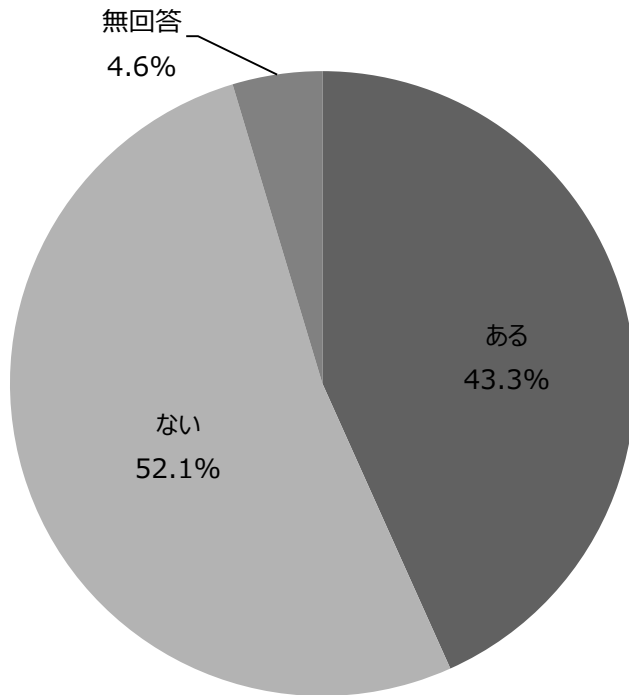
	実数	構成比(%)
全体	123	100
ある	51	41.5
要件・状況が整えば雇用する	50	40.7
雇用することはない	2	1.6
無回答	20	16.3

Q 雇用以外で協力できることがあればお知らせください。(複数回答可)



アンケート調査結果

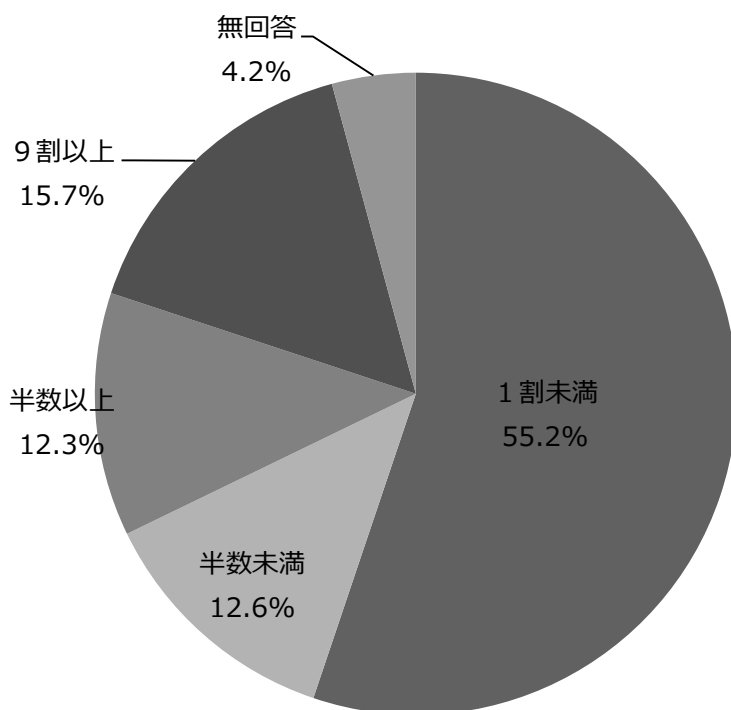
Q 犯罪や非行をした人を雇用するに当たり、更生保護施設入所者を雇用したことがありますか。



	実数	構成比(%)
全体	603	100
ある	261	43.3
ない	314	52.1
無回答	28	4.6

(Q「犯罪や非行をした人を雇用するに当たり、更生保護施設入所者を雇用したことがありますか。」で「ある」を選択した人のみ)

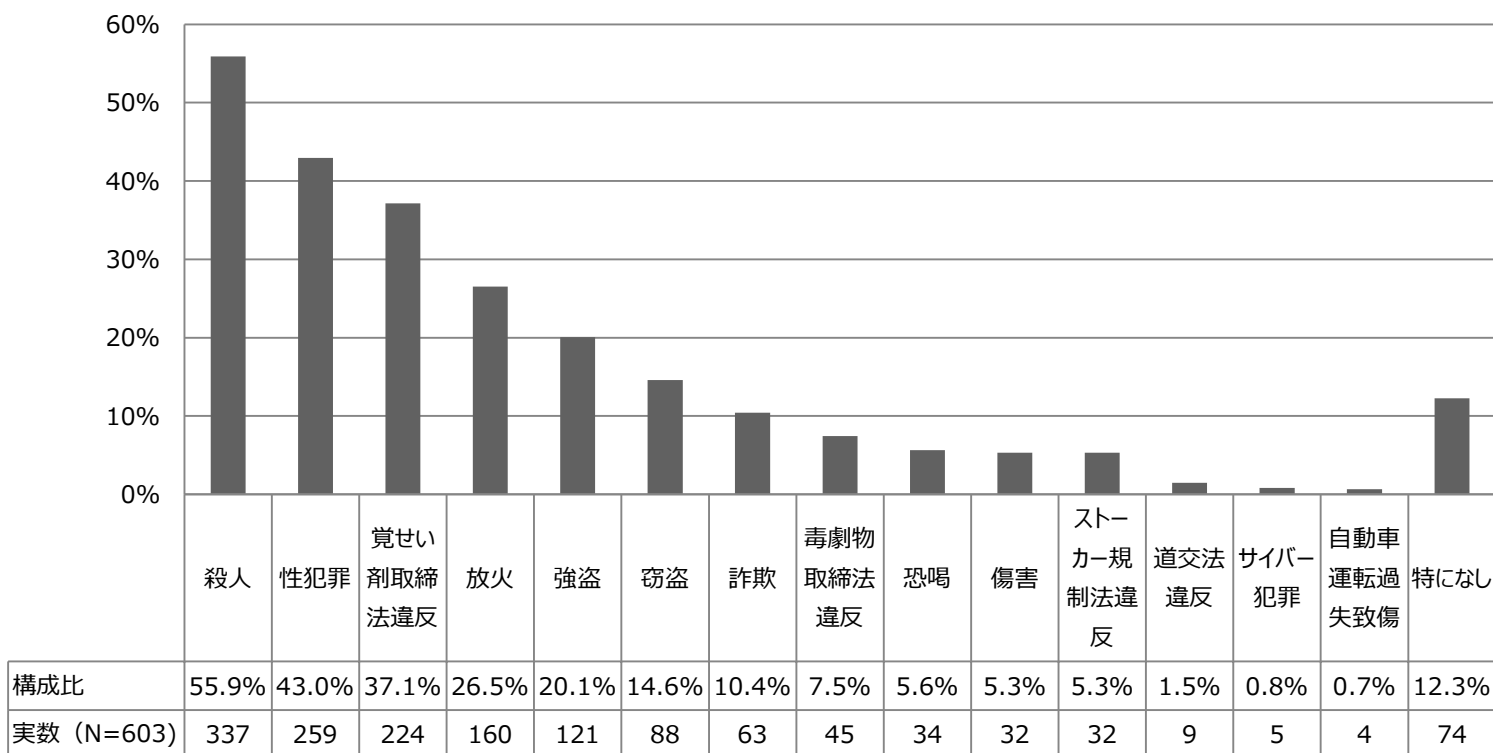
Q 雇用した人のうち、更生保護施設入所者の割合はどの程度ですか。



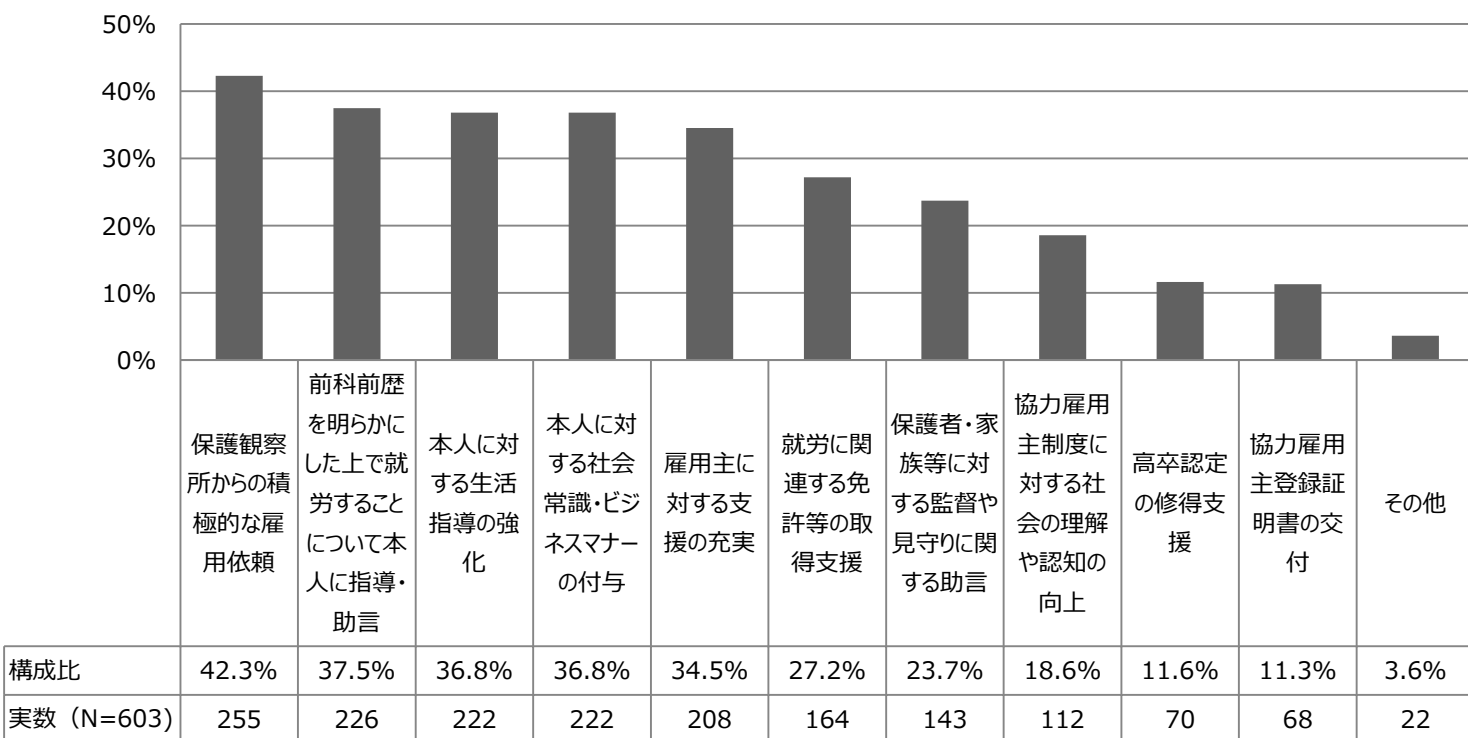
	実数	構成比(%)
全体	261	100
1割未満	144	55.2
半数未満	33	12.6
半数以上	32	12.3
9割以上	41	15.7
無回答	11	4.2

アンケート調査結果

Q 犯罪や非行をした人の罪名・非行名のうち、雇用することに抵抗感が強いものがあれば、3つまで選択してください。特になければ、「特になし」を選択してください。



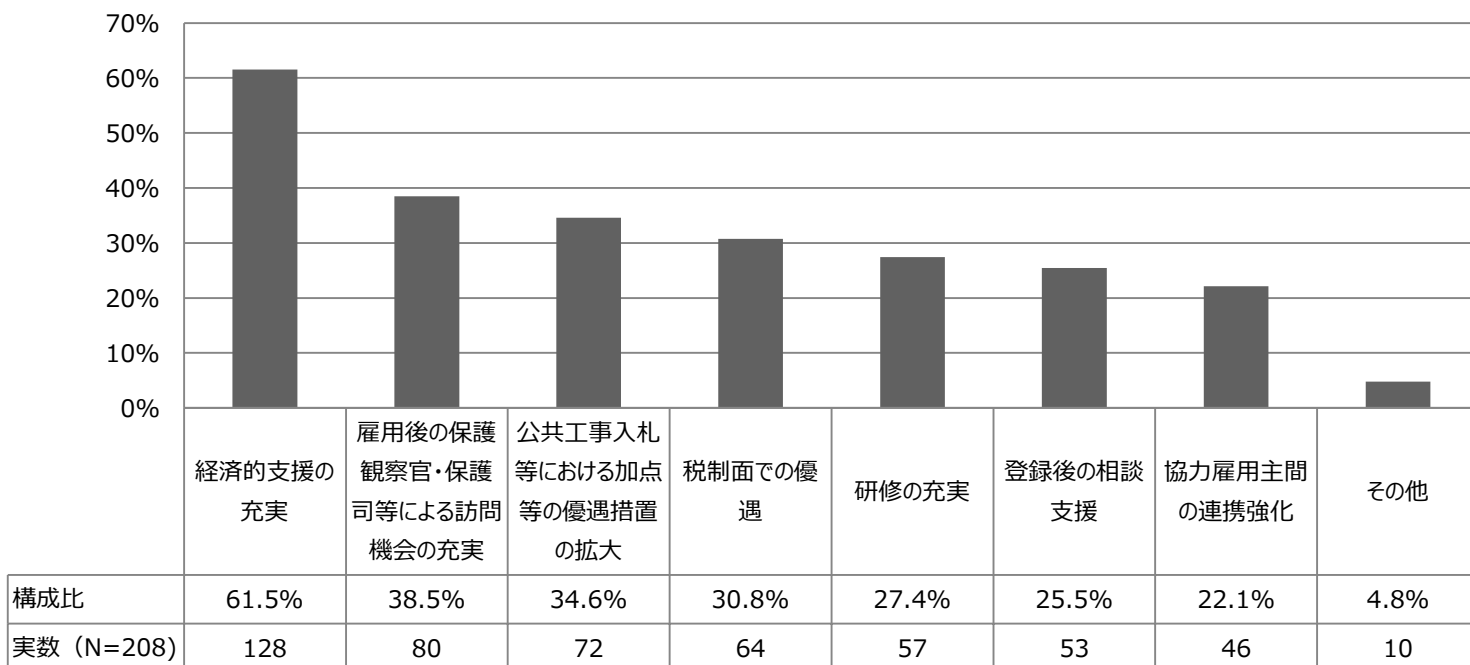
Q 犯罪や非行をした人を雇用しやすくするために保護観察所等に実施してほしいことをお知らせください。(複数回答可)



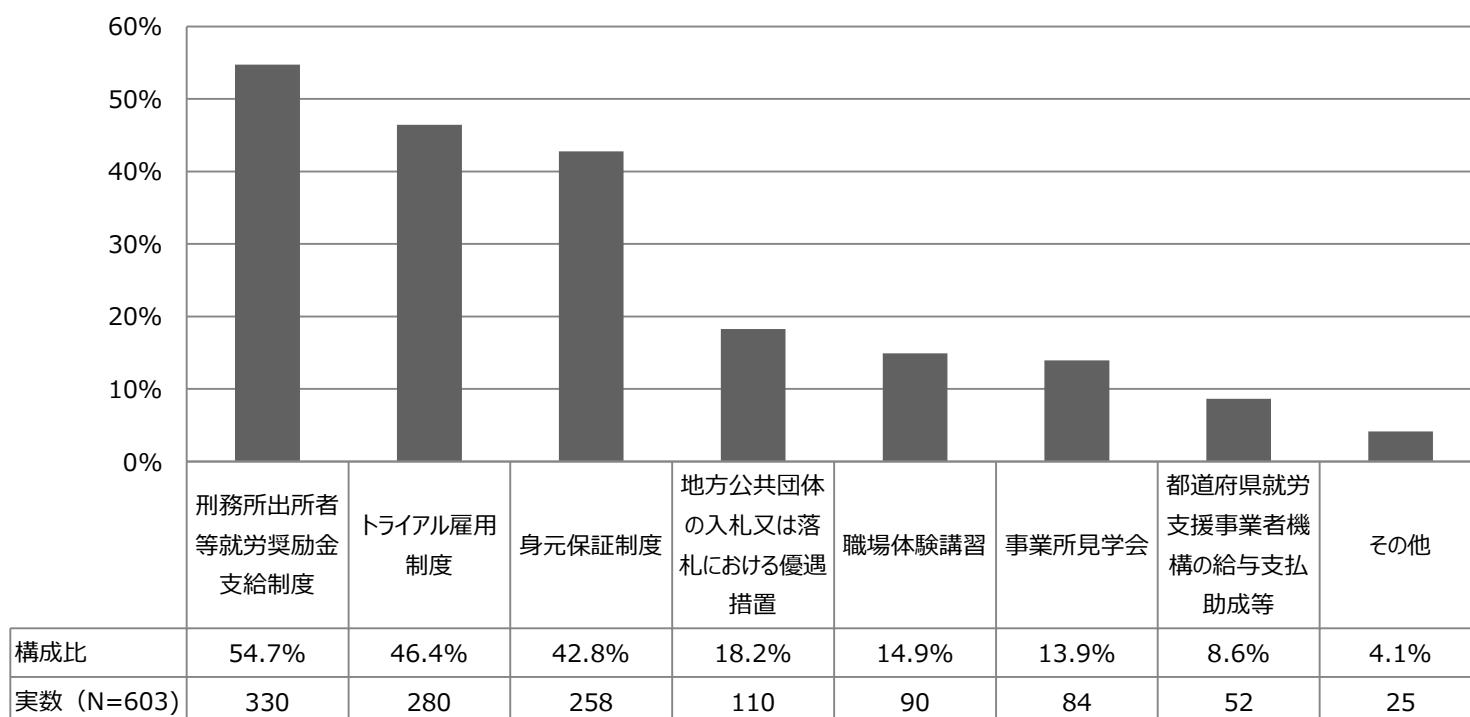
アンケート調査結果

(Q「犯罪や非行をした人を雇用しやすくするために保護観察所等を実施してほしいことをお知らせください。」で「雇用主に対する支援の充実」を選択した人のみ)

Q 協力雇用主に対する支援としてどのような支援があればよいと思いますか。(複数回答可)

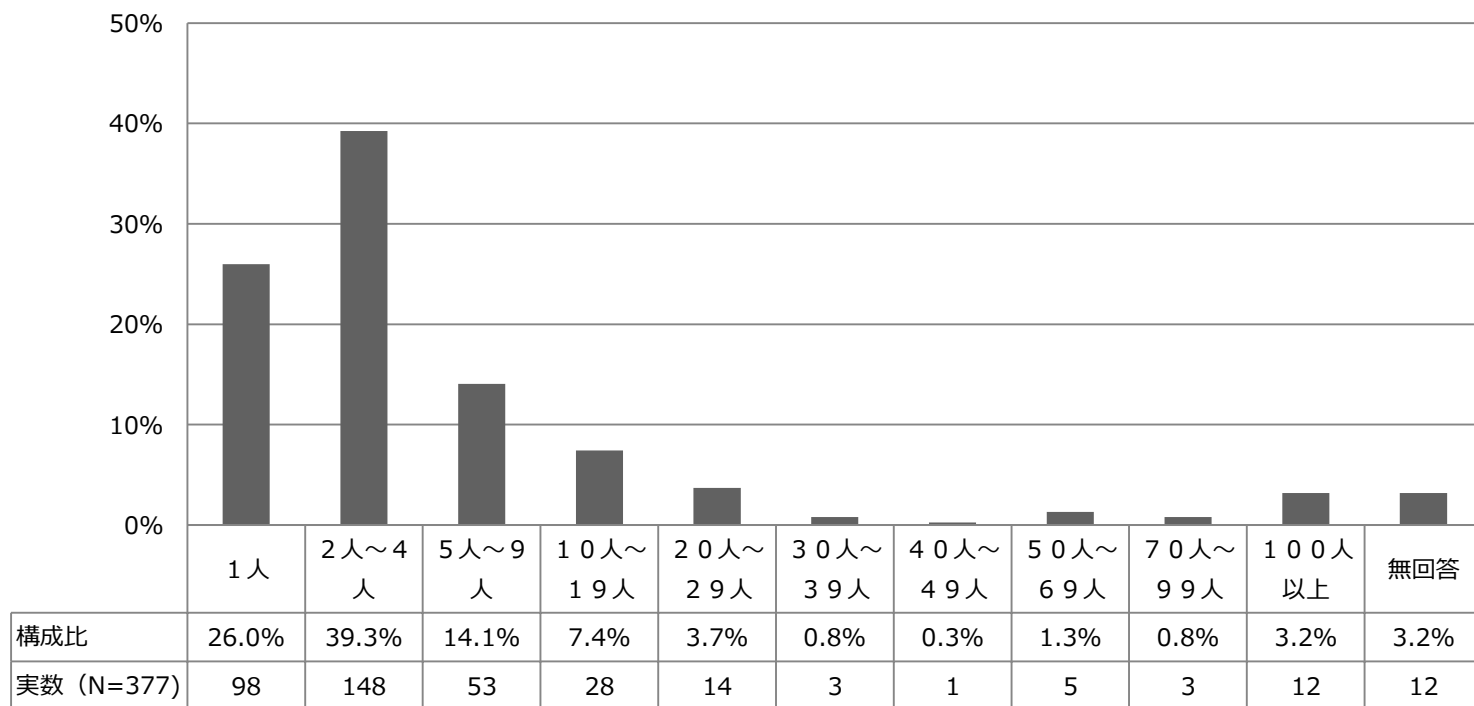


Q 犯罪や非行をした人の雇用に関する制度の中で知っている制度をお答えください。(複数回答可)

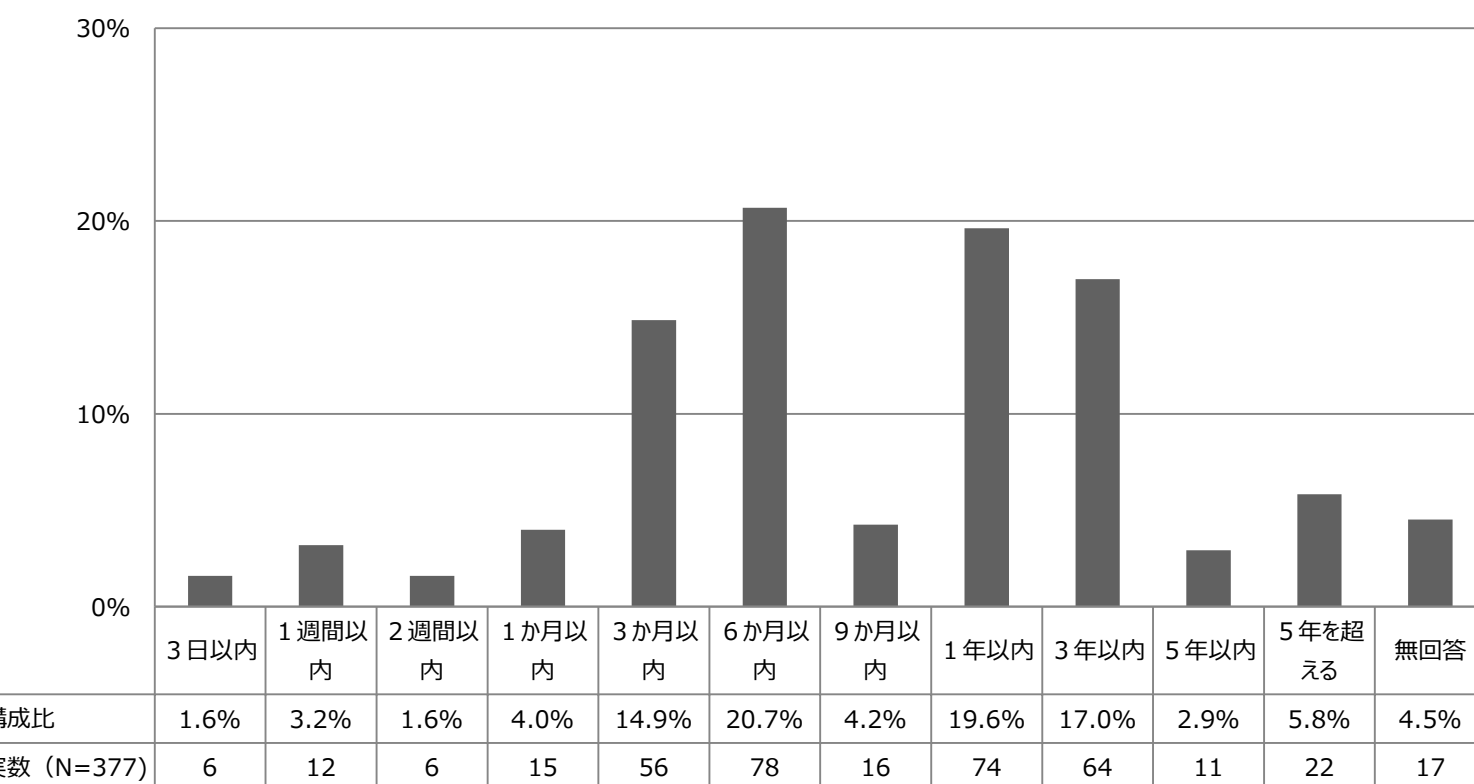


アンケート調査結果

Q これまでに協力雇用主として雇用した犯罪や非行をした人の人数はだいたいどれくらいですか。



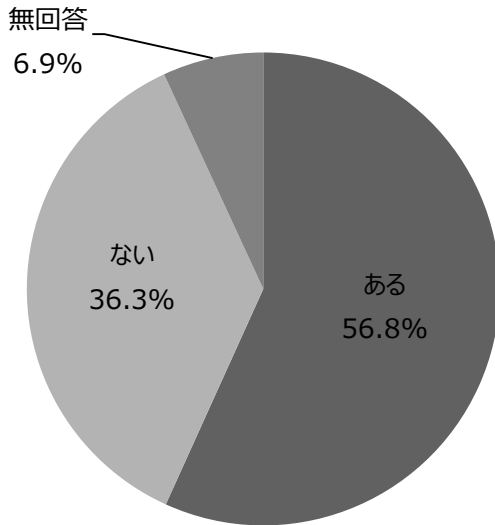
Q 協力雇用主として雇用した犯罪や非行をした人の平均的な勤務継続期間はだいたいどれくらいですか。



アンケート調査結果

Q 犯罪や非行をした人の雇用に際して、法務省が平成27年度から実施している「刑務所出所者等就労奨励金支給制度」(以下「奨励金制度」と言います。)(注)を活用したことがありますか。

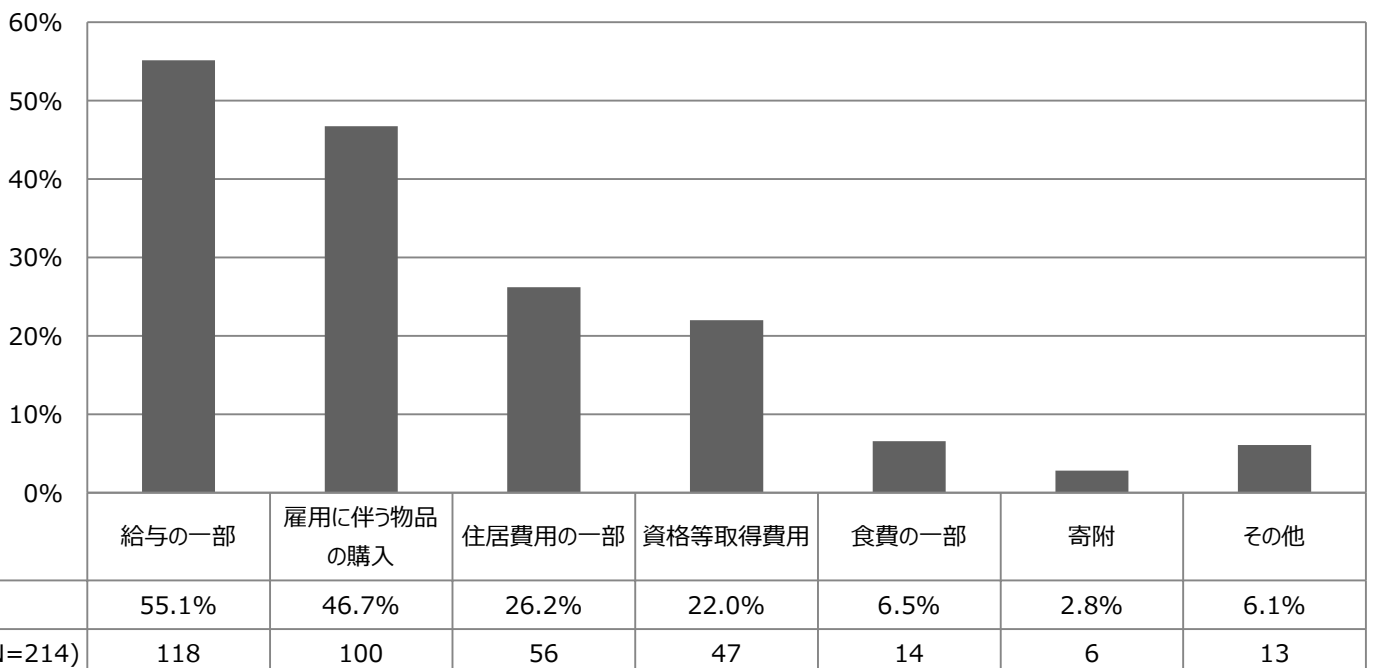
(注)犯罪や非行をした人を雇用し、指導する協力雇用主に月最大8万円、年間最大72万円の奨励金を支給する制度



	実数	構成比(%)
全体	377	100
ある	214	56.8
ない	137	36.3
無回答	26	6.9

(Q「犯罪や非行をした人の雇用に際して、法務省が平成27年度から実施している「刑務所出所者等就労奨励金支給制度」(以下「奨励金制度」と言います。)(注)を活用したことがありますか。」で「ある」を選択した人のみ)

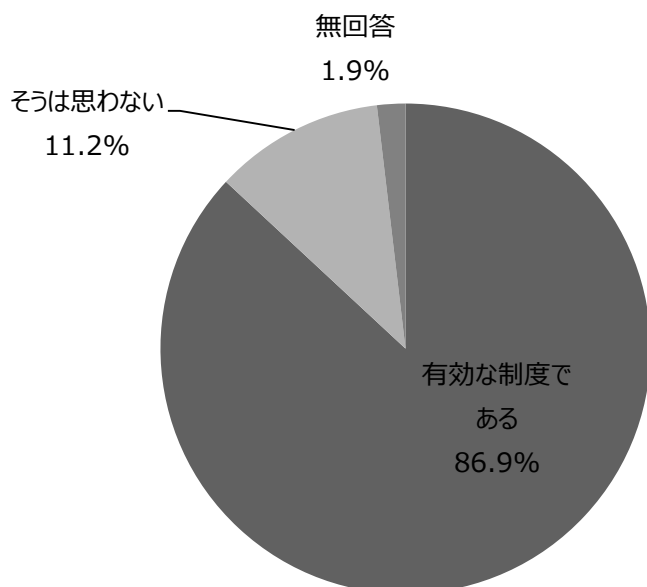
Q 奨励金の使途をお知らせください。(複数回答可)



アンケート調査結果

(Q「奨励金の使途をお知らせください。」を回答した人のみ)

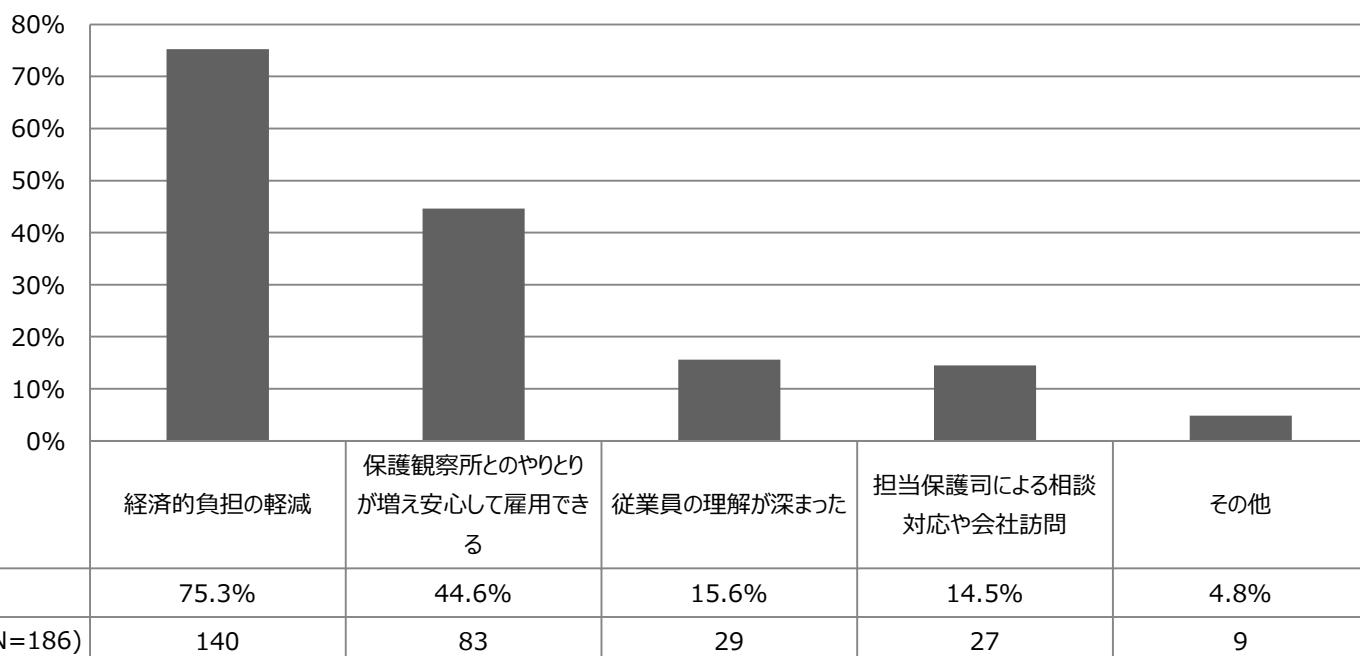
Q 奨励金制度は雇用を促進するに当たって有効な制度となっていますか。



	実数	構成比(%)
全体	214	100
有効な制度である	186	86.9
そうは思わない	24	11.2
無回答	4	1.9

(Q「奨励金制度は雇用を促進するに当たって有効な制度となっていますか。」で「有効な制度となっている」を選択した人のみ)

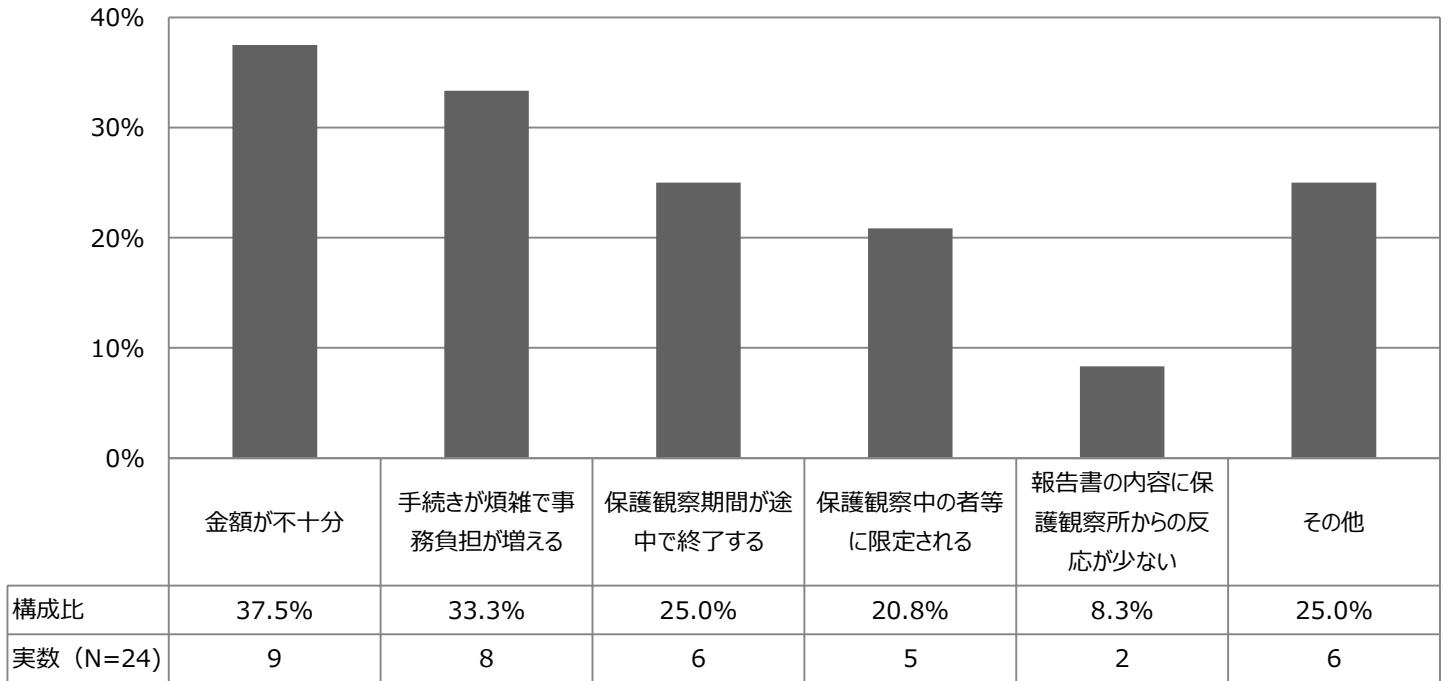
Q 奨励金制度が有効な制度となっていると考える理由をお知らせください。(複数回答可)



アンケート調査結果

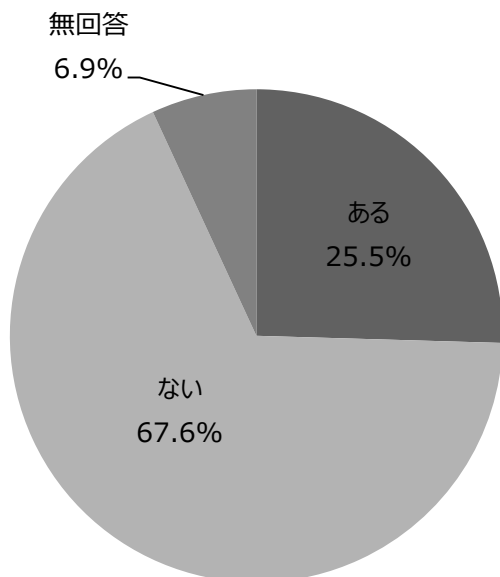
(Q「奨励金制度は雇用を促進するに当たって有効な制度となっていますか。」で「そうは思わない」を選択した人のみ)

Q 奨励金制度が有効な制度となっていないと考える理由をお知らせください。(複数回答可)



Q 雇用之际して身元保証制度(注)を使ったことがありますか。

(注) 犯罪や非行をした人が就職に当たって身元保証人を確保できない場合に、民間の事業者が1年間身元を保証し、業務上の損害に対し見舞金を支給する制度

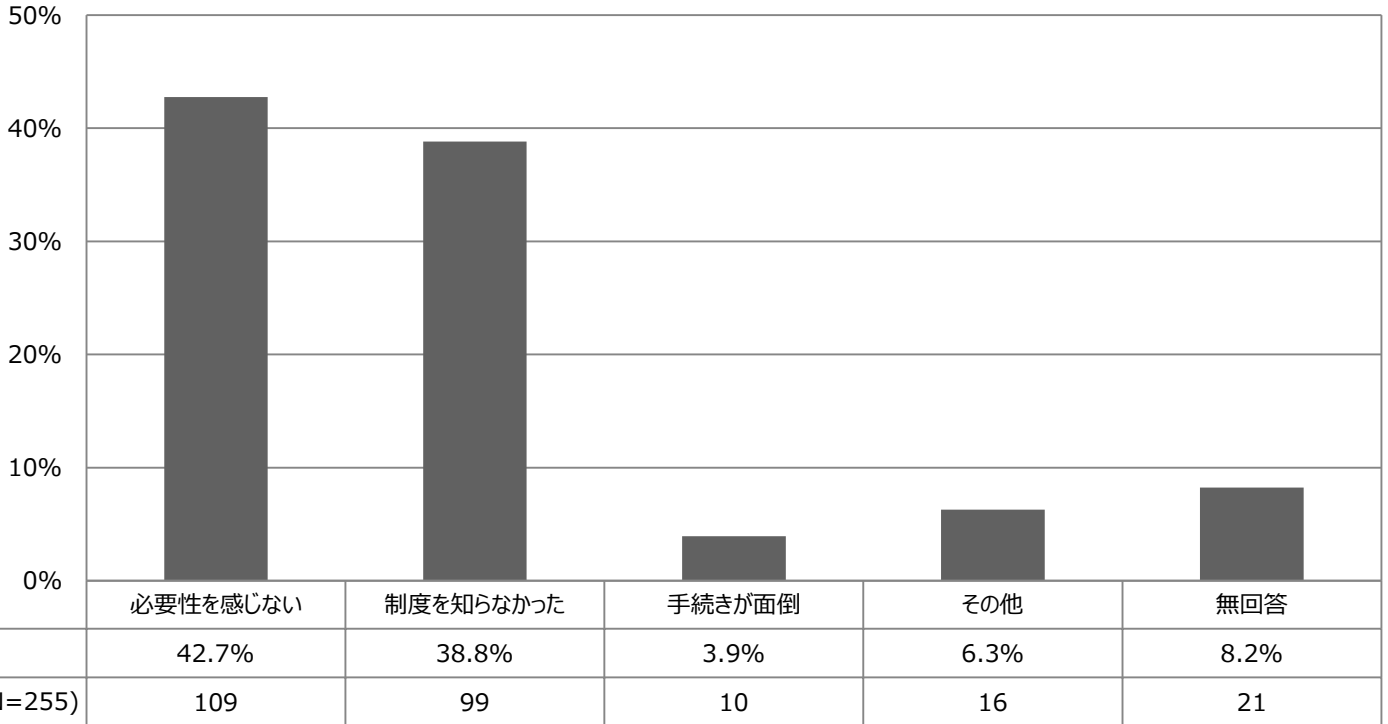


	実数	構成比(%)
全体	377	100
ある	96	25.5
ない	255	67.6
無回答	26	6.9

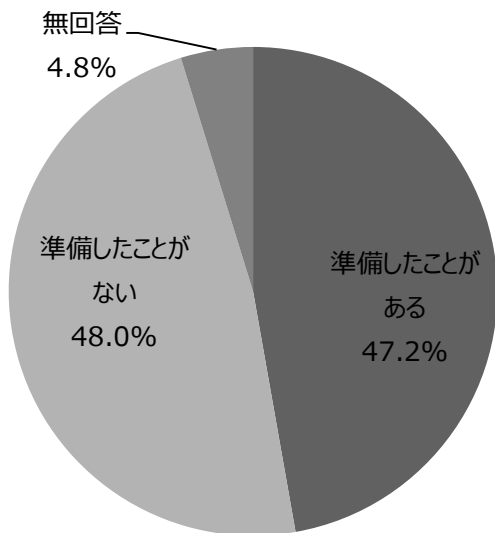
アンケート調査結果

(Q「雇用に際して身元保証制度(注)を使ったことがありますか。」で「ない」を選択した人のみ)

Q 身元保証制度を使ったことがない理由をお知らせください。



Q 犯罪や非行をした人を雇用するに当たり、住居を準備したことがありますか。

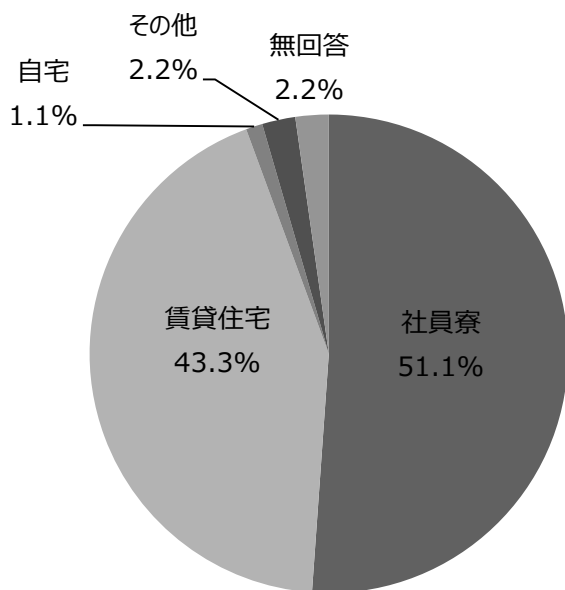


	実数	構成比 (%)
全体	377	100
準備したことがある	178	47.2
準備したことがない	181	48.0
無回答	18	4.8

アンケート調査結果

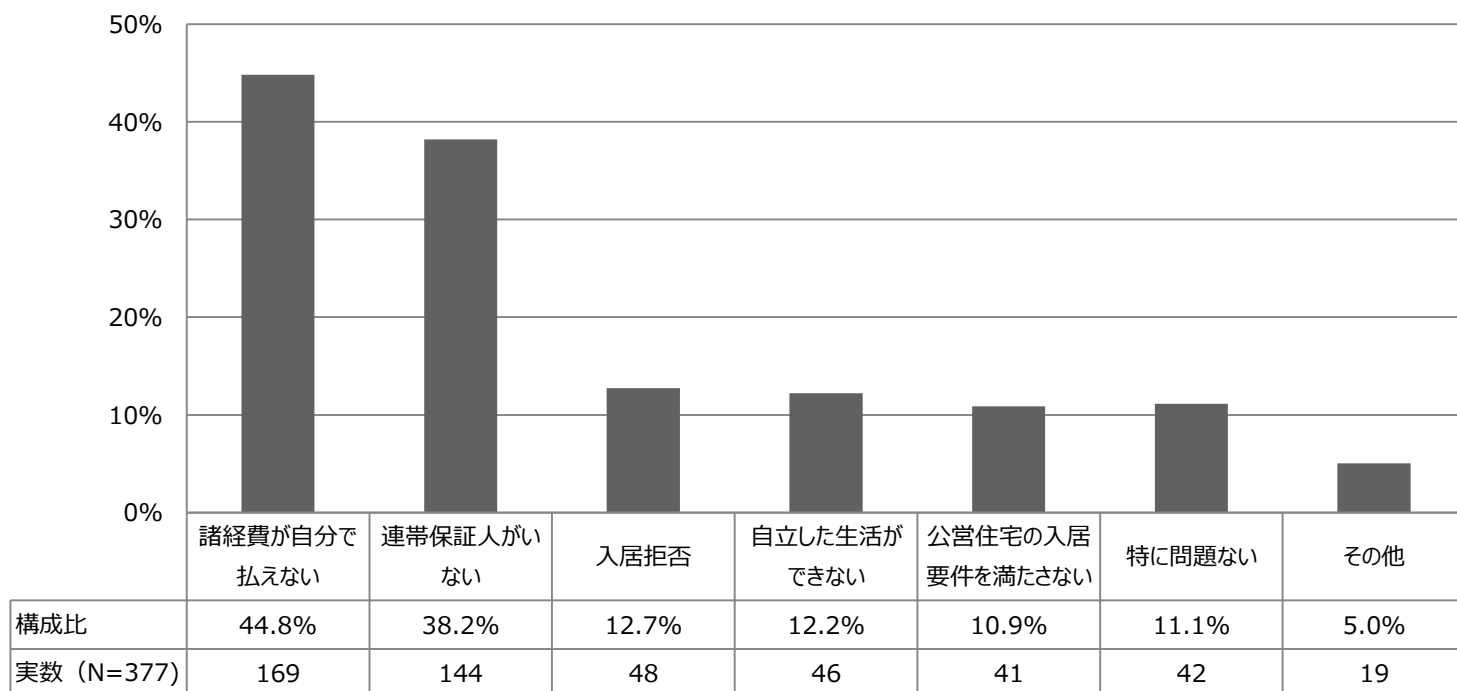
(Q「犯罪や非行をした人を雇用するに当たり、住居を準備したことがありますか。」で「ある」を選択した人のみ)

Q 具体的にどのような住居を準備しましたか。



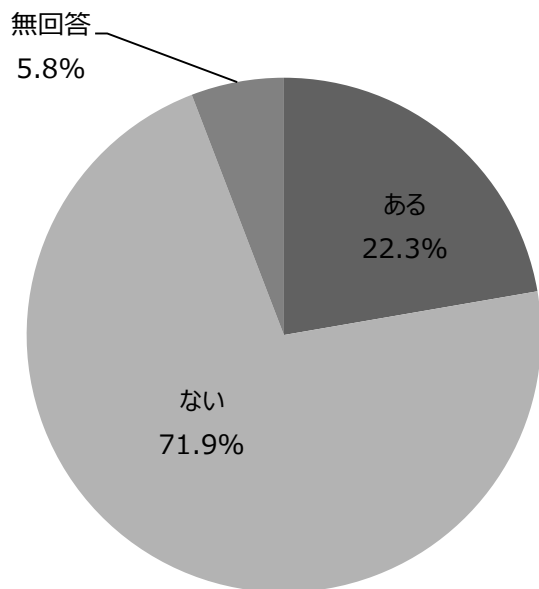
	実数	構成比 (%)
全体	178	100
社員寮	91	51.1
賃貸住宅	77	43.3
自宅	2	1.1
その他	4	2.2
無回答	4	2.2

Q 犯罪や非行をした人が住居を確保するに当たり、どのような問題があると思いますか。(複数回答可)



アンケート調査結果

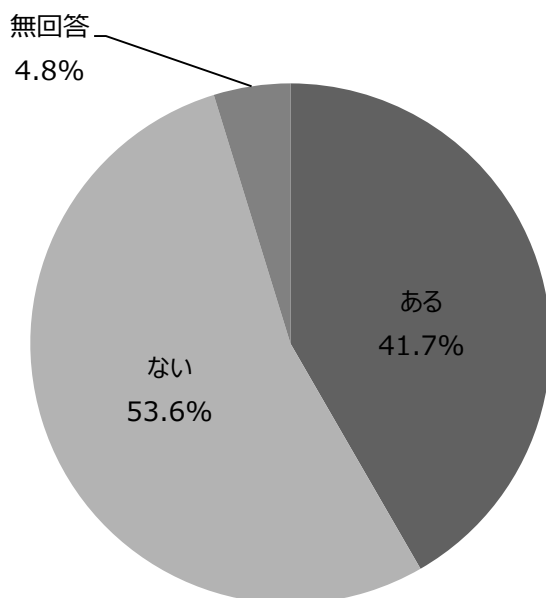
Q 犯罪や非行をした人の住居の連帯保証人になったことがありますか。



	実数	構成比(%)
全体	377	100
ある	84	22.3
ない	271	71.9
無回答	22	5.8

(Q「犯罪や非行をした人の住居の連帯保証人になったことがありますか。」で「ある」を選択した人のみ)

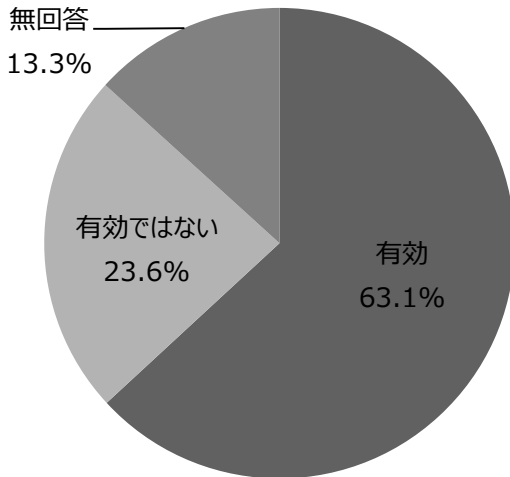
Q 連帯保証人となったため、弁済をしたことがありますか。



	実数	構成比(%)
全体	84	100
ある	35	41.7
ない	45	53.6
無回答	4	4.8

アンケート調査結果

Q 現行の身元保証制度(就職の際の身元保証)は、住居を確保する上で有効な制度となっていると思いますか。

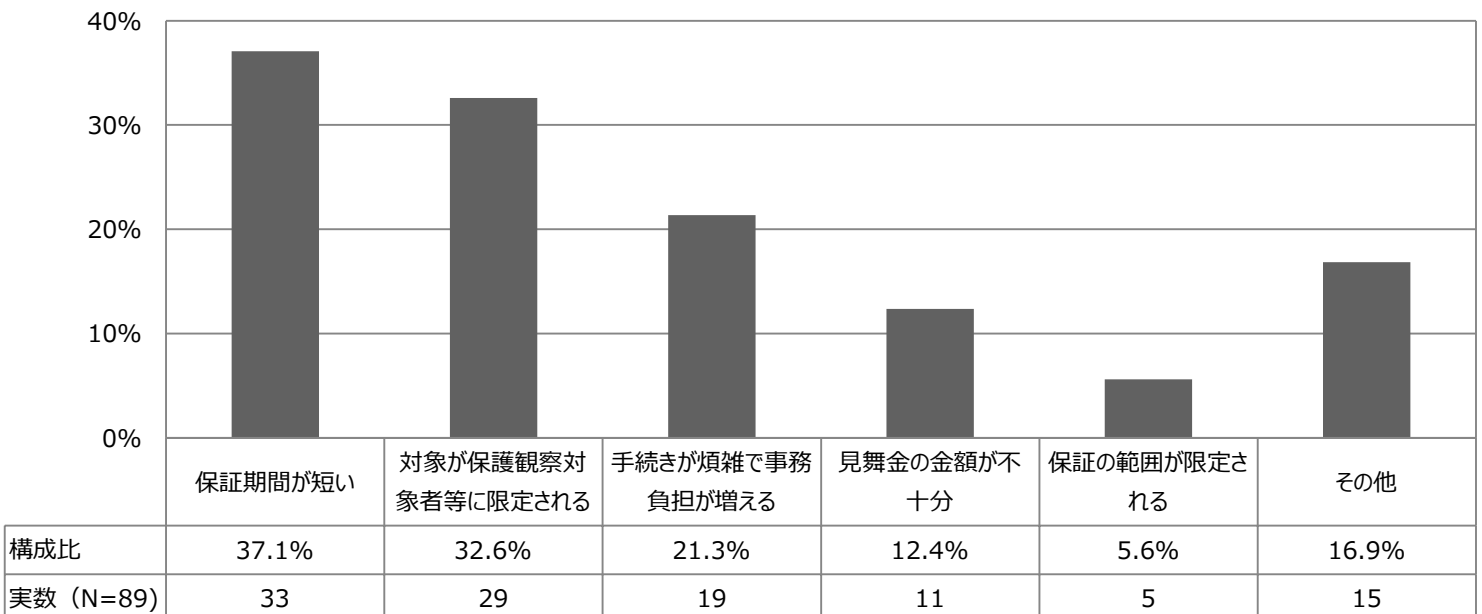


	実数	構成比(%)
全体	377	100
有効	238	63.1
有効ではない	89	23.6
無回答	50	13.3

※被保証者を雇用するに当たり、被保証者が入居する賃貸住宅の費用を事業主が立て替えたにもかかわらず、回収不能となった場合等に見舞金が支払われる場合があります。

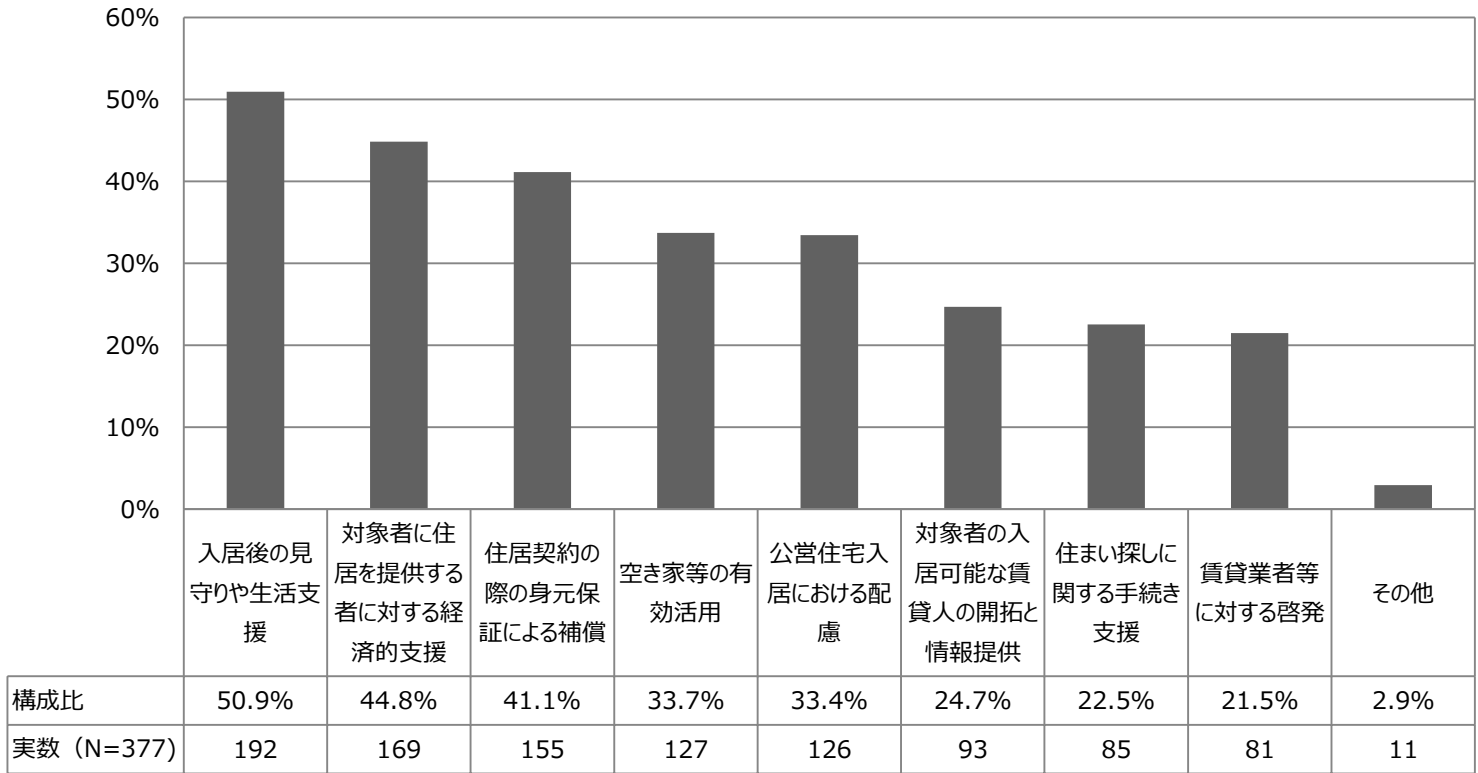
(Q「現行の身元保証制度(就職の際の身元保証)は、住居を確保する上で有効な制度となっていると思いますか。」で「有効ではない」を選択した人のみ)

Q 現行の身元保証制度(就職の際の身元保証)が住居を確保する上で十分有効な制度となっていないと考える理由を教えてください。(複数回答可)

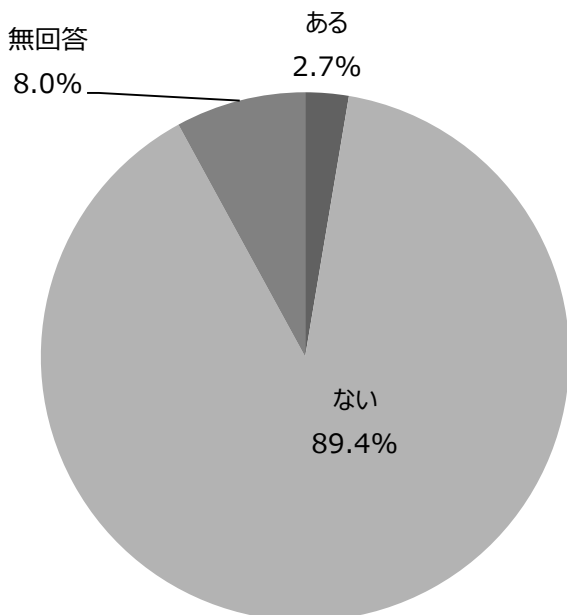


アンケート調査結果

Q 犯罪や非行をした人の住居の確保に対する支援として、どのようなものがあればよいと思いますか。(複数回答可)



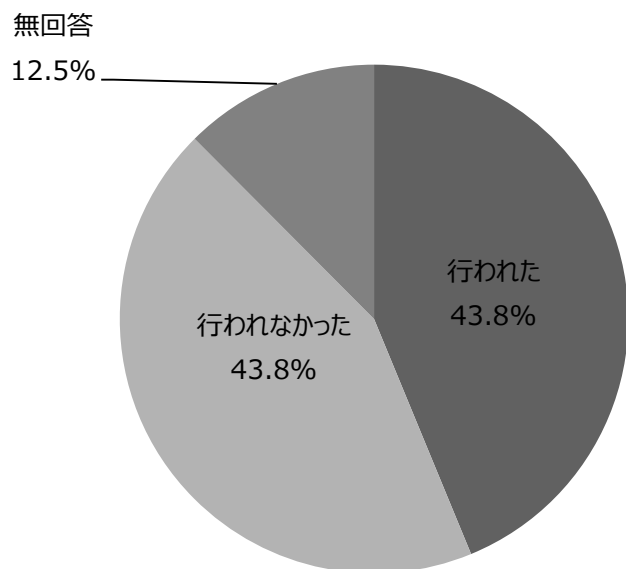
Q 犯罪や非行をした人を雇用するに当たって、資格制限(前科があることで特定の資格が取得できないこと)が問題になったことはありましたか。



	実数	構成比(%)
全体	377	100
ある	10	2.7
ない	337	89.4
無回答	30	8.0

アンケート調査結果

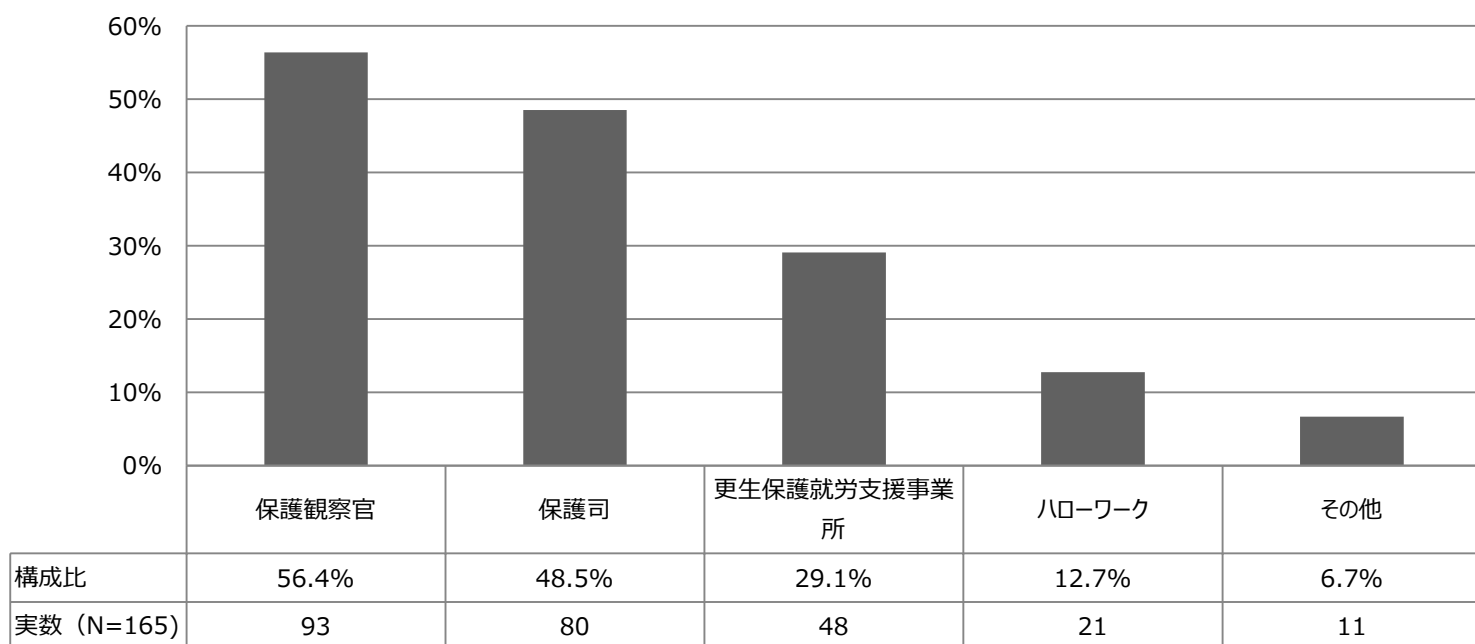
Q 犯罪や非行をした人を雇用した後、雇用に伴う悩みや不安等に対して何らかの支援は行われましたか。



	実数	構成比(%)
全体	377	100
行われた	165	43.8
行われなかった	165	43.8
無回答	47	12.5

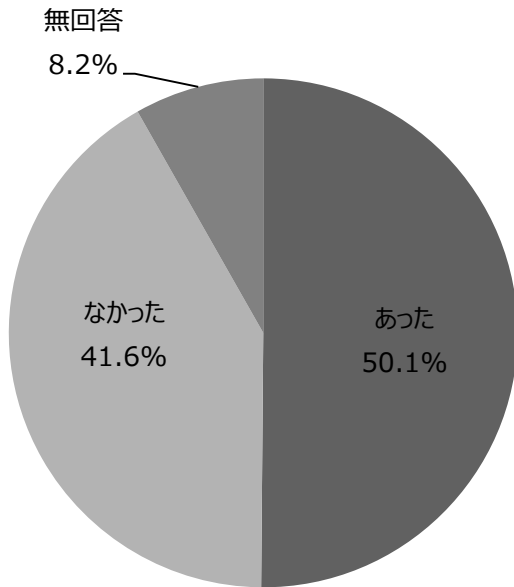
(Q「犯罪や非行をした人を雇用した後、雇用に伴う悩みや不安等に対して何らかの支援は行われましたか。」で「行われた」を選択した人のみ)

Q 実際に支援を行った機関(人)について教えてください。(複数回答可)



アンケート調査結果

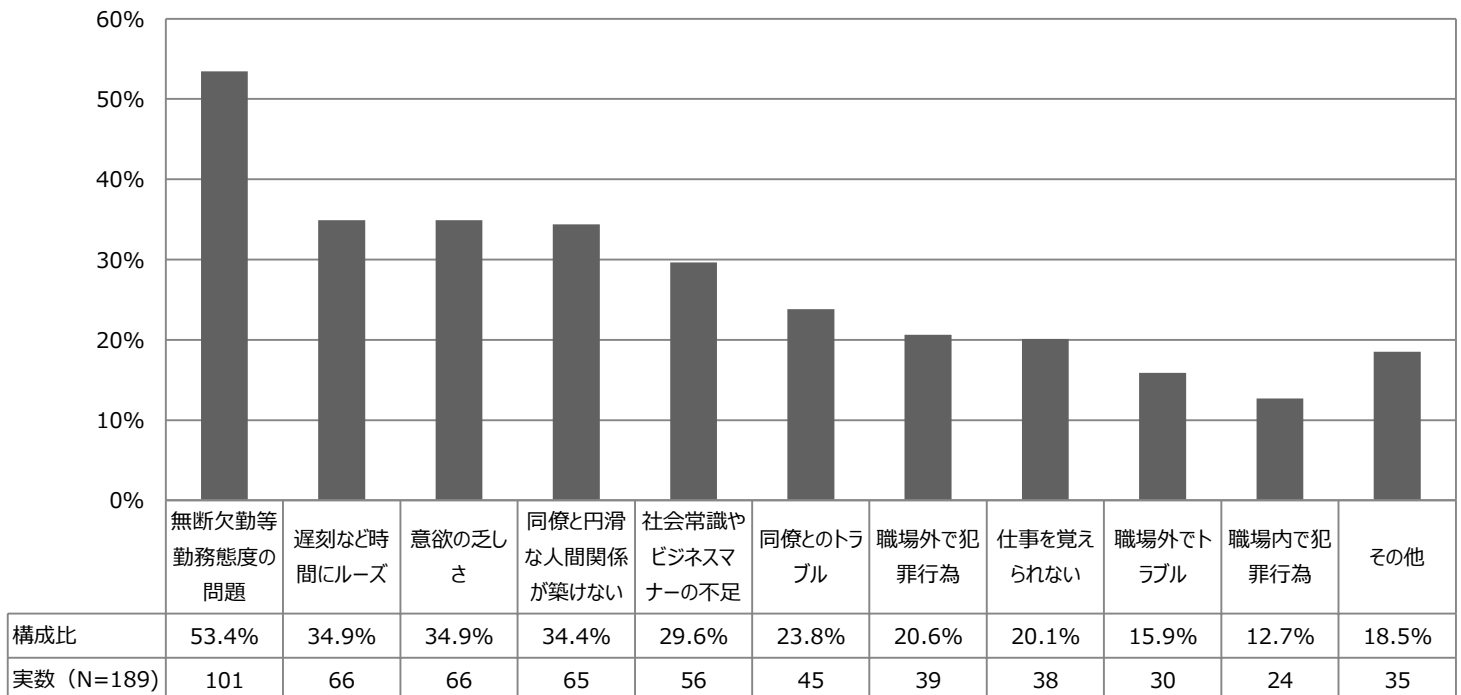
Q 雇用した犯罪や非行をした人に何らかの就労上の問題はありましたか。



	実数	構成比(%)
全体	377	100
あった	189	50.1
なかった	157	41.6
無回答	31	8.2

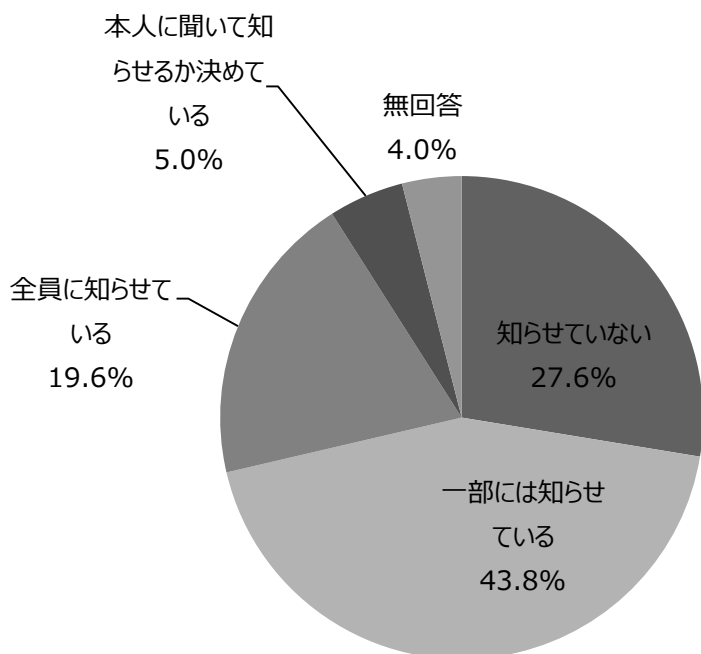
(Q「雇用した犯罪や非行をした人に何らかの就労上の問題はありましたか。」で「あった」を選択した人のみ)

Q どのような就労上の問題がありましたか。(複数回答可)



アンケート調査結果

Q 犯罪や非行をした人を雇用したとき、その者に犯罪や非行の前歴があることを会社の従業員に知らせていますか。



	実数	構成比 (%)
全体	377	100
知らせていない	104	27.6
一部には知らせている	165	43.8
全員に知らせている	74	19.6
本人に聞いて知らせるか決めている	19	5.0
無回答	15	4.0

(Q「犯罪や非行をした人を雇用したとき、その者に犯罪や非行の前歴があることを会社の従業員に知らせていますか。」で「知らせている」を選択した人のみ)

Q 犯罪や非行をしたとき、その者の前歴を会社の従業員へ知らせている理由をお知らせください。(複数回答可)

